

箱根組ニュース

第300号 2017年 12月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

丹沢の高松山はなかなかの手ごたえだった。山頂では隠れ、朝夕のみ全容を見せた富士山。

11月19日(日)、小田急線新宿駅、6時51分発の急行小田原行きに乗車。新松田に8時14分着。

伊東から参加の西川夫人はすでにバス停に並んでいた。参加予定だった西川さんは腰痛で残念ながら急遽不参加となった。

参加者は。西川夫人、川名、奥村、神吉、神山、和田、星野、戸丸の8名。

8時25分発の西丹沢行きバスに乗車。バス停は大行列だったが何とかメンバー8名は超満員のバスに滑り込んだ。青空が広がり、バスの正面には雪化粧した富士山がくっきりと姿を見せていた。

8時35分、高松山入口バス停に到着。目の前の山北町社会福祉協議会の駐車場をお借りしてストレッチ。

8時53分歩き出す。すぐ横の道を北に向かって進む。エンゼルトランペット(木立朝鮮朝顔)の白い花が下を向いて咲いている。(調べたらブルグマンシア・スアウエオレンスという品種のよう

だ)全体に毒があるようで扱いには注意とのこと。右側にはキウイフルーツの畑があるがもう実はない。住宅地を進む。正面にはこれから行く方面の山が見える。左側のミカン畑では美味しそうに熟したミカンをたくさん付けて枝がたわんでいる。

8時59分、東名高速の橋げたの手前で左に曲がり尺里川を渡る。すぐ右に公衆トイレ、小休止。

9時7分、再出発。川に沿って右に曲がりながら進む。左側の集落の上には蜜柑山が広がっているようだ。青空と雲と里山の景色が美しい。柿の実も美味しそうに実っている。

9時16分、左、ビリ堂・高松山の標識が入って行く。道の角には数体の石仏がある。道は少しずつ傾斜がついてきて丹沢の山らしくなってくる。両側の斜面はみかん畑だ。景色が開けて左側には箱根の金時山らしき姿が見える。

9時37分、左方向眼下は東名高速と街並みの向こうに相模湾、大島がはつき



りに見える。絶景だ。

9時42分、左側に高速沿いからのルートが合流するが現在は新東名高速の工事中で通行止めだ。青空にスキのシルエットが美しい。ジャノヒゲカリユウノヒゲの紫色の実が目立つ。

9時52分、林道終点着。マユミの実だろうかピンクのひし形の実を付けている。10人ほどの団体が通過する。我々と違って男性ばかりで紅一点だった。小休止して出発。

ここからは待望の山道だ。ビリ堂まで1時間、高松山まで1時間30分とある。丹沢らしい森の中の傾斜をじわじわと上ってゆく。淡く色づいた緑と褐色の木

の葉が美しい。高松山の打ち上げ残金針葉樹が混じってきいて道は

現在の収支	
繰越収入	38380 円
	480 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	37460 円

小尾根になってくる。七色の紅葉が逆光に輝く。

切手残数
82円切手 253枚
40円切手 131枚
10時35分、林道を横切

り上ってゆく。猟師らしき二人とすれ違う。軽自動車がい

止まっていた。10時39分、石仏が二体左側にある。景色の開けたところ

で海と大島が一層よく見える。針葉樹の林になり道は緩やかに

ななつて気持ちがいい。11時、ビリ堂。お堂があるかと思

つたらなかった。ビリ堂水の碑という石仏が大

小二体あった。小休止。歩き出してしばらくして

ヒノキ林の中の坂に長い階段の道が現れる。うねりながら240段ほど

続くのでふくらはぎにこたえる。紫のトリカブトの花が少し残

12月17日(日) は巾着田で芋煮会です。

ラクダコース

歩行2時間40分

※コースは多峯主山(270.8m) 經由の山コースか、高麗峠(176.5m) 經由の平坦コースか、またはミステリーコースか? ※お弁当は入りません。

●参加者で材料を分担。持参するものをお知らせください。(こんにゃく、うどん、里芋、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、牛肉、麵つゆ)

※焚火の材料(紙類、燃やせるもののある方)

○持ち物 飲料水、非常食、ポットにお湯、食器、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは12月15日(金)までに

集合 12月17日(日)

西武池袋駅 7時10分発

快速飯能行き(前から3両目車内)

途中駅発

練馬 7:19 石神井公園 7:24
ひばりヶ丘 7:29 清瀬 7:34
秋津 7:36 所沢 7:42 西所沢 7:45
小手指 7:48 狭山ヶ丘 7:50
入間市 7:57

飯能着 8時6分着

(交通費 池袋~飯能 470円)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

が休憩をしている。富士山には雲がかかって山頂は見えない。右の肩のラインと御殿場方面の裾野は見えている。ススキと富士の景色は美しい。箱根の山々ははつきりと見え、相模湾、大島と眼下の街並みはよく見える。少し風があるので、林よりの木の横で昼食にする。気温が低いのでみんな上着を着こんで体温が下がらないようする。



メインテーブルには持ち寄りの美味しい惣菜が並び、川名さんは熱燗の準備、温めるとみんな寄ってくる。にぎやかな昼食をたっぷり楽しんで、コーヒータイム。

記念撮影をしていると他の登山客は誰もいなくなっていた。景色が素晴らしいので三方向から撮ってみる。迫力のある景色を堪能する。

1時27分、下山開始。ヒノキ林を下ってゆく。

2時11分、一頭の犬が上ってきた。首に鎖がついているので飼犬だと思いが声をかけてもこちらに構わず山頂方面に歩いて行った。しばらく後でまた尺里峠に下りてきて下山していった。

2時13分、標高600m地点通過。すぐに桜平というビューポイント。

2時19分、富士見台、やはり山頂は見えない。その先に他化自在天という石仏を通過。

2時27分、尺里峠。当初左に舗装路

をとの計画だったが、舗装路を避³けて右に行き、山道経由で田代向バス停を目指すことにした。

突き当りを左に登り少し先で猟友会のメンバーの数人に出会う。このあたりで右に曲がるはずだが、道が見当たらない。猟の人に金網とススキの繁る間だど道を教えてもらう。スマホのヤマツプの地図もあり無事に山道を下れた、ススキや笹の荒れた地点では道が見えずに一人ではいけない道だった。

3時29分、突き当りのルートに出る。

3時43分、寄自然休養村手前の里に出る。右の橋を渡りまっすぐ行くと、シダゴ山の帰りに立ち寄った橋の袂の公衆トイレに出る。バスの時間まで少しあるので休憩。橋を渡り、4時40分のバスで新松田駅へ。

5時、打ち上げ。駅前の以前入ったお店にうまく8人を入れた。美味しい魚とお酒で満足の打ち上げだった。

● 12月17日の芋煮の材料はみんな分担して持参します。持参するものを戸丸までお知らせください。

(こんにゃく、うどん、里芋、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、牛肉、麺つゆ)

